

もくじ

1. 安全上のご注意	
安全上のご注意	2～3
2. 工具及び付属部品の確認	3
3. 取付・設置の事前確認	
(1) 壁面の仕上げの確認	4
(2) 強度確認	4
工事区分	4
4. 取付・設置手順	
(1) 吊戸棚の取付	5
(2) 照明スペース付タイプ吊戸棚の配線	6
(3) スイングアップ吊戸棚の扉開閉動作調整手順	6
(4) プルダウンラック付吊戸棚の取付	7～8
(5) プルダウンラック付吊戸棚（照明スペース付）の配線	9
(6) 標準タイプ吊戸棚に別売品の照明機器を取付ける場合（参考例）	9
(7) フラップ吊戸棚の扉取外し・取付方法	10
(8) フラップ吊戸棚の扉調整方法	11
(9) ダンパーの調整方法	12
(10) ダンパーの取外し・取付方法	12
(11) 扉の取外し・取付方法	12
(12) 扉の調整方法	13
(13) ロック機構の調整・解除方法	14
5. 仕上げ	
(1) 清掃	15
6. 点検	
(1) 安全点検	15
7. 完了後の処置	
(1) 商品の養生について	15
(2) 取扱説明書の保管・引渡し方法	15
8. 残材処理	
(1) 梱包材その他残材の処置	15

取付・設置をされる方へのお願い

- 取付・設置をされる方の安全と使用者の安全確保のため、この取付・設置説明書をよくお読みになり、安全で正しい設置を行ってください。
- 本説明書は吊戸棚のものです。その他のキャビネットはそれぞれに添付する取付・設置説明書をご覧ください、正しい設置を行ってください。
- この取付・設置説明書に記載されていない方法で設置され、それが原因で故障等を生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。
- 設置完了後、各部の点検を行い、異常のないことを確かめてください。

1. 安全上のご注意

- 取付・設置の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく設置してください。
- 表示内容を見逃して誤った設置をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」をいう。



注意

この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。

- お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明しています。



このような図記号は、製品の取扱いにおいて、その行為を禁止する図記号です。



このような図記号は、製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。



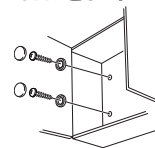
警告

製品固定ネジを空転するまで無理に締め込まない。



落下して、けがをするおそれがあります。

吊戸棚の固定は付属の取付ネジ（コーススレッドφ4.2×65）をワッシャーに通し、背面の穴より壁面に確実に固定し、指定位置以外に固定しない。



製品が落下して、けがをするおそれがあります。

ウォールキャビネットの設置は、建築側の構造を確かめて取付・設置説明書どおりに正しく行う。



落下して、けがをするおそれがあります。

レンジフード横に取付ける場合は火災予防条例に従い、不燃用吊戸棚を設置する。



所轄の消防署に確認してください。
離隔距離によっては、火災の原因になるおそれがあります。

キッチンに組み込まれる電気機器、換気フード等については、それぞれの取付・設置説明書および製品本体の表示事項を守り、正しく設置する。



思わぬ事故や故障の原因になることがあります。



注意

電気工事は関連する法令、規定に従って、必ず「有資格者」が行う。



感電のおそれがあります。

清掃時には台所用中性洗剤を使用する。



その他の洗剤及びベンジン・シンナー等の溶剤やみがき粉の使用は、製品の変色・変質の原因になります。

1. 安全上のご注意（続き）

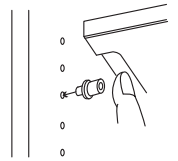
⚠ 注 意

吊戸棚の底面に水切りパイプ棚等を取付ける際には、それぞれの取付・設置説明書を守り、正しく設置する。



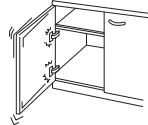
吊戸棚の側板木口及び不燃仕様吊戸棚底板にはネジが効かないため、取り付けた製品が落下して、けがをすることがあります。

棚板を設置する時は、棚受をすきまのないように根元まで確実に差し込む。



棚板がはずれ収納物が落下してけがをすることがあります。

取付・設置完了後は扉のがたつきや丁番のゆるみがないことを必ず確認する。



使用中に扉が落下して、けがをすることがあります。

絶対に分解したり、修理・改造したりしない。



製品が落下して、けがをすることがあります。

取付・設置に使われる溶剤・その他薬品類は、それぞれの注意表示にしたがって、正しく使う。

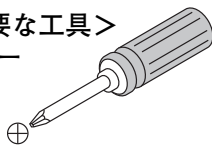


誤った使い方をすると、人体に影響が出たり、仕様部材の損傷や劣化の原因となります。

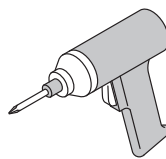
2. 工具及び付属部品の確認

<取付・設置に必要な工具>

● プラスドライバー



● 充電ドライバー
(電気)



<付属部品>

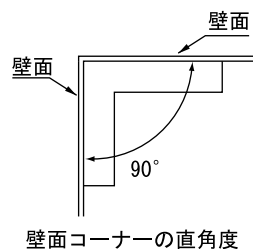
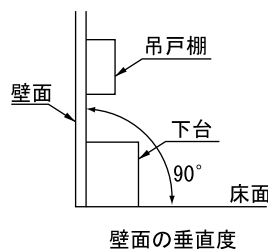
● 取付ネジ（標準吊戸棚、スイングダウンウォール、照明スペース付吊戸棚、スイングアップ吊戸棚、プルダウンラック付吊戸棚、フラップ吊戸棚）

付属部品名	間口 (cm)		30, 35, 45, 50, 60, 75	90, 105, 120, 125, 135, 140	コーナー用 吊戸棚	引戸 吊戸棚	照明スペース 付き吊戸棚	プルダウンラック付吊戸棚		フラップ吊戸棚	
	15	15						30, 45	90	75	90
取付ネジ コーススレッドφ4.2×65	2本	4本	4本	5本	8本	6本	5本	4本	6本	4本	5本
キャビ連結ネジ コーススレッドφ3.8×28	4本	4本	4本	4本	4本	4本	4本	4本	4本	4本	4本
ネジ トラストッピンφ3.5×13	—	—	—	—	—	—	—	—	2本(照明スペース付)	—	—
M4 ワッシャー	6個	8個	9個	12個	10個	9個	8個	8個	10個	8個	9個
化粧キャップ	6個	8個	9個	12個	10個	9個	8個	8個	10個	8個	9個
ナイロクリップ	—	—	—	—	—	—	—	—	2個(照明スペース付)	—	—

3. 取付・設置の事前確認

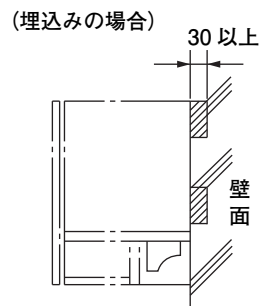
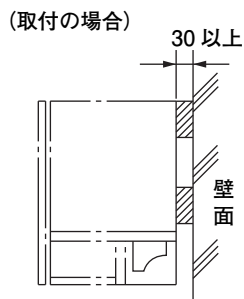
(1) 壁面の仕上げの確認

- 床面に対して壁面を垂直に仕上げてください。
- 壁面が床面に対して前方に傾いていますと吊戸棚のロック機構が働いて扉が開かなくなります。あらかじめ壁面の吊戸棚設置下部に木（ベニア）を入れて、吊戸を設置した際に扉がロックしないように調整してください。
- 壁面コーナー部は直角に仕上げてください。
- 吊戸棚を設置する壁面に凹凸があると、扉に段違いが生じますので、壁面は必ず平滑に仕上げてください。



(2) 強度確認

- 吊戸棚を設置する壁面には、右図に示す位置に固定できる補強があることを確認してください。



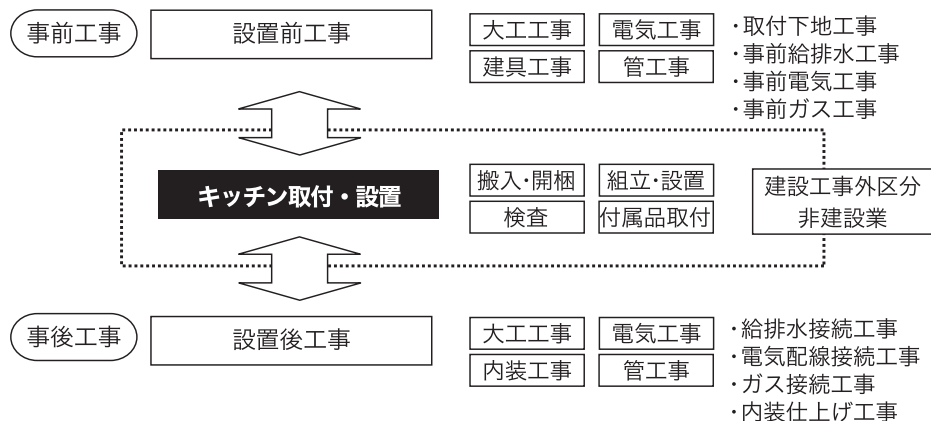
工事区分

警告

- ◎ 本説明書は、システムキッチンの本体取付・設置と関連工事（建設工事）である大工工事、電気工事、ガス配管工事、管工事（給排水）、建具工事などと区別して説明しています。
- 建設工事は関連する法令・規定に従って、法的有資格者による工事が必要になります。
- 流通業者様（販売店様など）からの発注で下請けとして「本体の取付・設置」を行う場合は、建設工事部分と「システムキッチン本体取付・設置」を区別して行ってください。



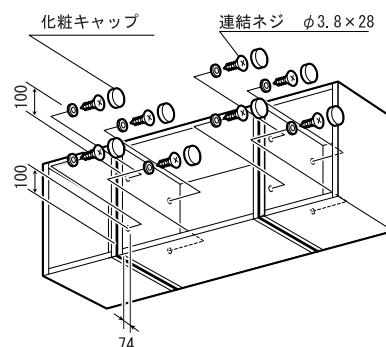
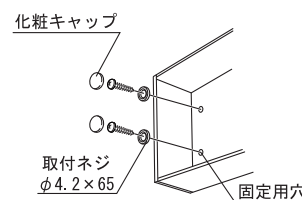
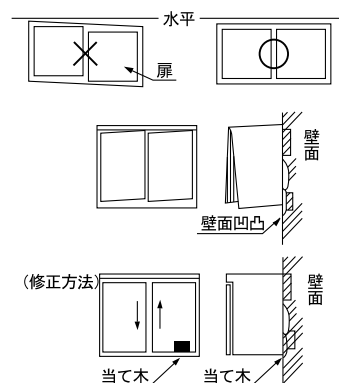
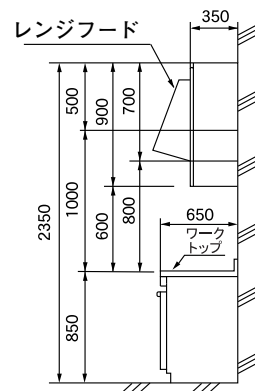
■システムキッチンの取付・設置とユニット工事区分



4. 取付・設置手順

(1) 吊戸棚の取付

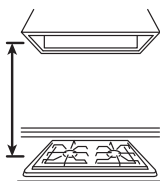
- ① 標準的な吊戸棚の取付位置は右図の通りです。吊戸棚の配置及び取付位置はシステムキッチンの取付設置図面に従ってください。
プルダウンラック付吊戸棚の取付は⑦ページから⑨ページを参照ください。
- ② キッチンパネルがある場合は、キッチンパネルを壁面に取付けます。
キッチンパネルの取付・設置説明書に従って取付けてください。
- ③ 吊戸棚の取付位置を壁面、または壁面に取付てあるキッチンパネルに墨出しをします。ただしトールキャビネット・上置戸棚がある場合は、これらを仮置きした後に墨出しをしてください。
- ④ I型設置の場合は吊戸棚を隅側より取付けていきます。
L型設置の場合はコーナー用吊戸棚より取付けていきます。吊戸を取付ける際は、吊戸が水平、垂直となるように取付けてください。
水平に取付いていないと扉に段違いが生じることがあります。吊戸棚を据付ける壁面に凹凸があると、扉に段違いが生じますので、壁面は必ず平滑にしてください。
扉の段違いが生じた場合は壁面と吊戸棚の間に当て木（ベニア等）を入れて調整してください。
- ⑤ 扉を外してから吊戸棚の取付を行います。扉及びダンパーの取外し方法は⑩ページ、⑫ページを参照ください。
- ⑥ 吊戸棚の固定は付属の取付ネジ（コーススレッド $\phi 4.2 \times 65$ ）をワッシャーに通し、背面の固定用穴より壁面に確実に固定してください。
取付ネジのワッシャーに化粧キャップを取付けます。
- ⑦ 左右に吊戸棚がある場合は、付属のネジ（コーススレッド $\phi 3.8 \times 28$ ）で必ず連結してください。
- ⑧ 棚板を取付けます。棚受はキャビネットに確実に差込んでください。
- ⑨ 扉の取付方法は⑩ページ、⑫ページを参照ください。



警告

- レンジフード横に取付ける場合は火災予防条例に従い、不燃用吊戸棚を設置する。

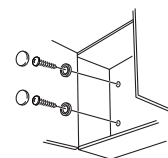
所轄の消防署に確認してください。離隔距離によっては消防署の検査に不合格になるばかりでなく、火災の原因になるおそれがあります。



警告

- 吊戸棚の固定は付属の取付ネジ（コーススレッド $\phi 4.2 \times 65$ ）をワッシャーに通し、背面の固定用穴より壁面に確実に固定する。

指定位置以外で固定すると、製品が落下して、けがをするおそれがあります。



注意

- 製品取付けの際に取外した扉、棚板は直接床に置かないでダンボール等で養生した場所に置く。

床や扉、棚板に傷がつくおそれがあります。



4. 取付・設置手順

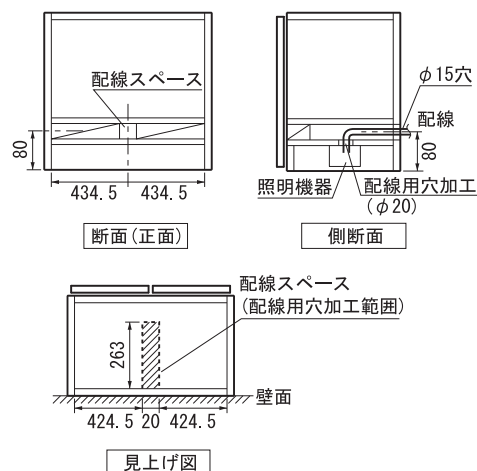
(2) 照明スペース付タイプ吊戸棚の配線

① 照明機器の取付方法、取付位置は照明機器の取付・設置説明書を参考に行ってください。

② 底板の間口方向の中央部は中空状の配線スペースになっています。

配線スペースの範囲内で底板下面に取付ける照明機器に合わせて配線用穴(φ 20)を開けてケーブルを引き込んでください。

- ・ 照明機器は付属されていません。市販品の照明をご用意ください。
- ・ 照明取付スペースの寸法は、幅 869 × 奥行き 313 × 高さ 70mm です。照明取付スペース内に収まる照明機器をお選びください。



(3) スイングアップ吊戸棚の扉開閉動作調整手順

① 扉が下にずれ下がる場合の調整

- 1) 手で扉 (①) を上部に保持します。
- 2) 裏側のナット (②) をゆるめてください。
- 3) スプリング (③) を手で押さえながら、プラスドライバーにてスプリング前部のネジ (④) を時計まわりに回して締め、スプリングを強く張ります。
- 4) 左右ともに、スプリングの調整を行います。
- 5) 最後にナット (②) を④側に締め直してください。

② 扉開閉が重い場合の調整

扉が上部にて十分保持出来ており、開閉が重い場合は、スプリングを弱く調整してください。

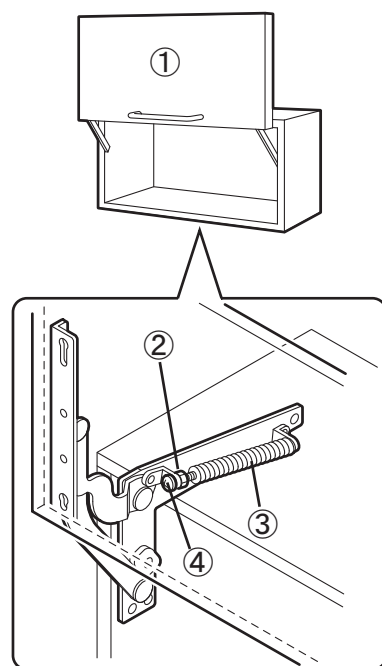
(調整方法は、上記手順と同じ作業で、ドライバーを反時計回りにして最後にナット (②) を④側に締め直してください。)

(注) スプリング強さ

手を離しても、扉がそのまま上部に保持されていれば結構です。

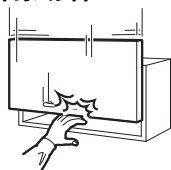
スプリングが強いと、扉開閉が重くなります。

- ・ ネジを時計まわりに回す→スプリングが強くなります。
- ・ ネジを反時計まわりに回す→スプリングが弱くなります。



⚠ 注 意

● 取付・設置完了後に扉の開閉動作を必ず確認する。



使用中に扉が勝手に閉じて、けがをします。おそれがあります。

● 調整後は必ずナット (②) を④側に締め直す。



使用中にネジ (④) がゆるみ、扉が勝手に閉じてけがをします。おそれがあります。

4. 取付・設置手順

(4) プルダウンラック付吊戸棚の取付

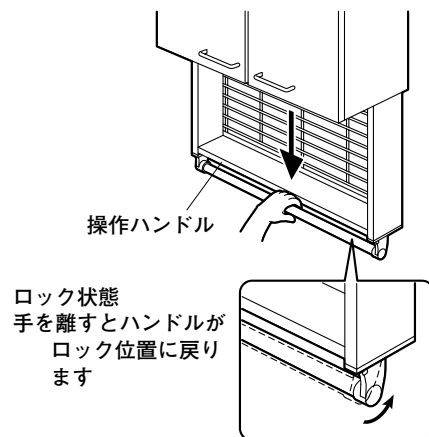
①昇降ユニットの操作方法

●昇降ユニットを降ろす

操作ハンドルの中央付近をしっかりと握り、ロック状態のままゆっくり下に引き降ろします。

(降ろす際は、特にハンドルを手前に引く必要はありません)

※積載物が軽い場合、強く引く必要があります。

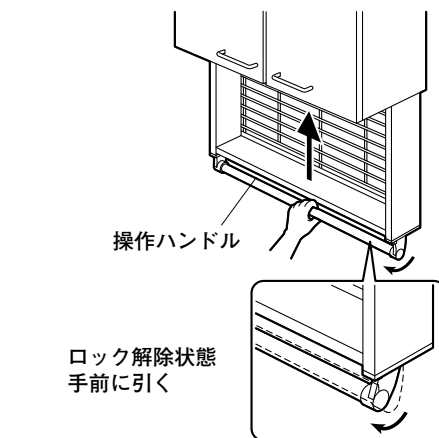


●収納ユニットを上げる

操作ハンドルの中央付近をしっかりと握り、ハンドルを手前に引き、ロック解除状態にし、ハンドルを握ったままゆっくりと昇降ユニットを上げます。

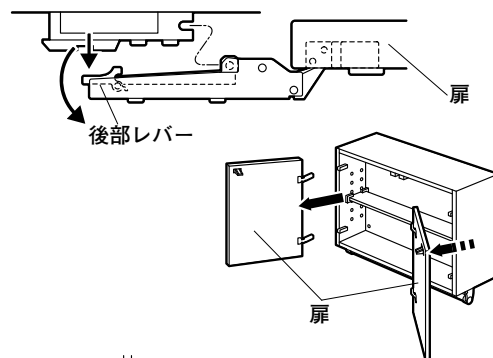
操作ハンドルから手を離す際は、操作ハンドルをロック状態に戻してから離してください。

※ 積載物が軽い場合、収納カゴが急激に引き上げられますので特に注意してください。

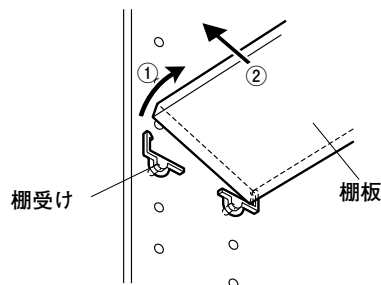


- ② 丁番の後部レバーを引くようにし、吊戸棚の扉を外してください。ダンパー付の場合は、ダンパーを先に外してください。

(⑫ページ「(10) ダンパーの取外し・取付方法」参照)

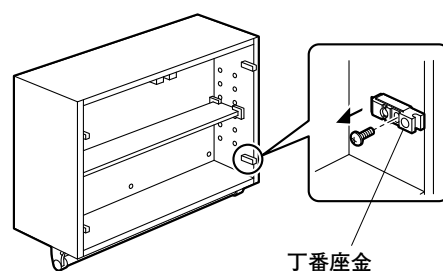


- ③ 棚受け前部のツメを外してから、棚板を外してください。



- ④ 下側の丁番座金を外してください。

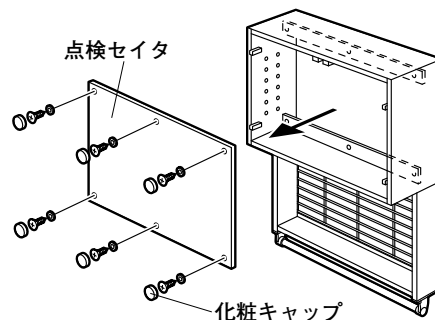
(間口 900 の場合は、左右とも外してください。)



4. 取付・設置手順

(4) プルダウンラック付吊戸棚の取付 (続き)

- ⑤ 点検セイタ取付ネジの化粧キャップを外し、ネジをゆるめて点検セイタの下部を手前に引くようにして外してください。
- ⑥ 吊戸棚本体を本取付・設置説明書にしたがって壁面に設置してください。背面ガードが邪魔になる場合は、昇降ユニットを少し下げて作業してください。



⚠ 注意

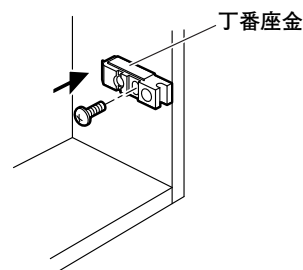
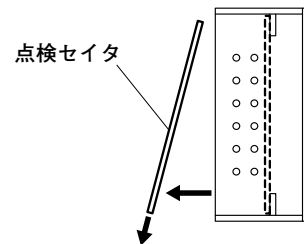
- 昇降ユニットを下げて作業する際は、必ず操作ハンドルをロック状態にし、操作ハンドルに触れたり、衝撃をあたえないように十分注意の上、作業する。



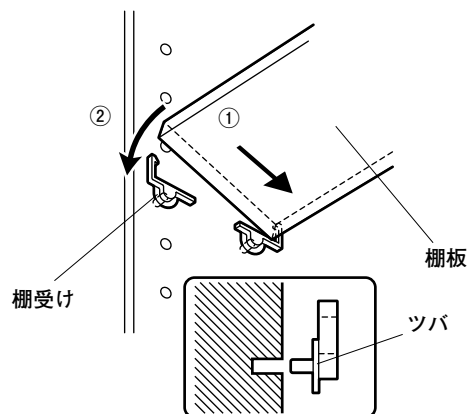
ロックが解除され昇降ユニットが急に上昇し、けがをするおそれがあります。

- ⑦ 点検セイタを⑤で外した時の逆の手順で取付けてください。
- ⑧ 丁番座金を取付けてください。

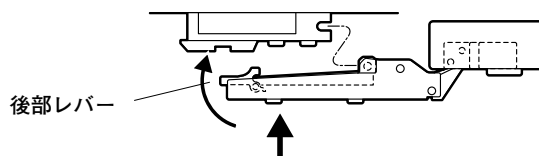
断面図



- ⑨ 棚板を取付けてください。
棚受けにはツバがついています。棚板は棚受けが抜けないようにツバを挟み込んで固定してください。



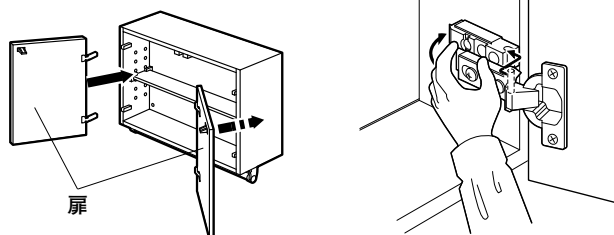
- ⑩ 吊戸棚の扉を取付けてください。
丁番前部のピンを引掛けるようにし、丁番の後部レバーをカチッと音がするまではめ込んでください。



⚠ 注意

- 扉や棚板が確実に取付けられていることを確認する。

扉や棚板が落下してけがをするおそれがあります。



4. 取付・設置手順

(5) プルダウンラック付吊戸棚（照明スペース付）の配線

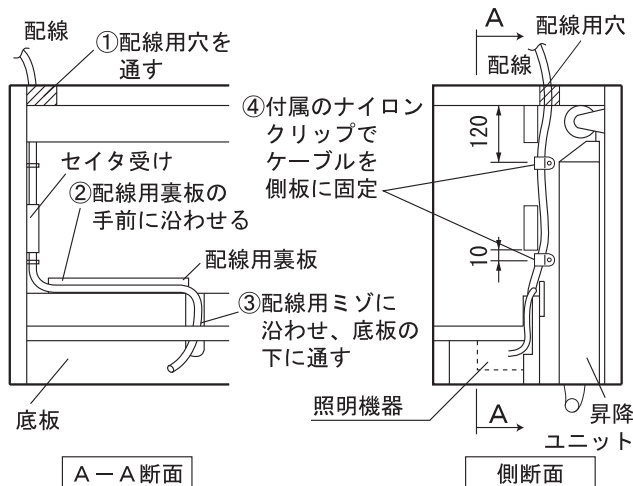
●照明用の配線をする際は以下の点にご注意ください。

- ① 吊戸棚上面の配線用穴を通し、側板内側に沿って下におろす。
- ② 配線用裏板の手前に沿って中央に伸ばす。
- ③ 配線用ミゾに沿って下におろし、底板の下に通す。
- ④ 配線ができれば必ず配線ケーブルを、付属のナイロクリップとネジ（トラスタッピン $\phi 3.5 \times 13$ ）を使って側板に固定してください。

⚠ 注 意

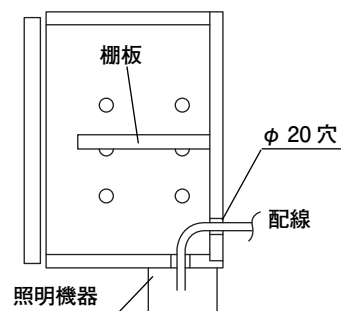
● 配線ケーブルは側板に確実に固定する。

配線ケーブルが奥にたわみ、昇降ユニットやケーブルが破損するおそれがあります。



(6) 標準タイプ吊戸棚に別売品の照明を取付ける場合 (参考例)

- ① 配線をキャビネット内に通す場合は、最下段の棚板より下面の背板に、 $\phi 20$ の穴をあけてください。
- ② 照明機器の取付・設置説明書を参考に、吊戸棚底板に配線用穴をあけ、照明機器を取付けてください。



⚠ 注 意

● 配線工事は関連する法令、規定に従って必ず「有資格者」が行う。

接続や固定が不完全な場合は発煙や、火災の原因になります。



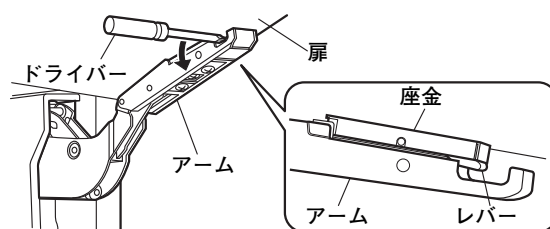
4. 取付・設置手順

(7) フラップ吊戸棚の扉取外し・取付方法

① 扉の取外し方法

ドライバー等をアーム先端に差し込み、レバーを押し下げて扉を座金から外してください。

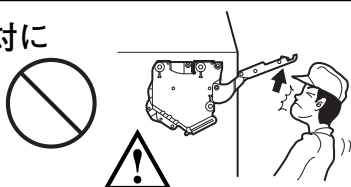
各部の名称



⚠ 注意

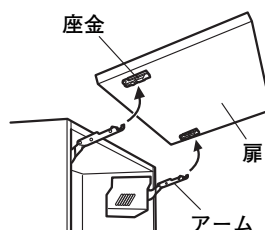
- 扉を外した状態では、絶対にアームを押し下げない。

アームが跳ね上がってけがをするおそれがあります。



- 扉を片手で押えて外す。

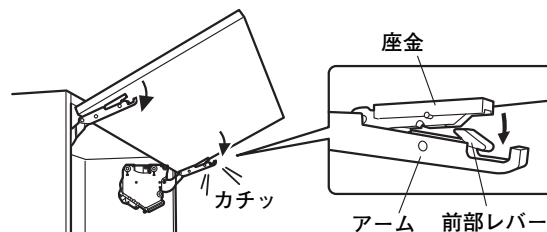
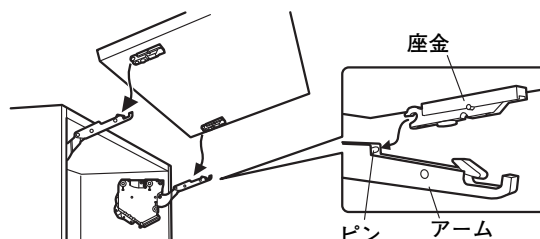
扉が落下してけがをするおそれがあります。



② 扉の取付方法

作業終了後、吊戸棚の扉を取付けてください。
丁番後部のピンを引掛けるようにし、丁番の前部レバーをカチッと音がするまではめ込んでください。

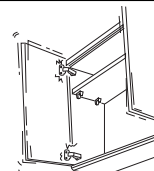
各部の名称



⚠ 注意

- 取付・設置完了後は、扉の傾き、ガタつき、丁番のゆるみがないことを必ず確認する。

扉が落下して、けがをするおそれがあります。



4. 取付・設置手順

(8) フラップ吊戸棚の扉調整方法

③ 扉の調整方法

- 上下の調整をする場合 (図-1)
プラスドライバーを使って上下調整ネジを時計回りに回すと扉がA方向に動き、反時計回りに回すと扉がB方向に動きます。
- 左右の調整をする場合 (図-2)
プラスドライバーを使って左右調整ネジを時計回りに回すと扉がA方向に動き、反時計回りに回すと扉がB方向に動きます。(左右両方向同じ調整量で調整する。) 上下調整ネジを左 (反時計回り) に回しすぎると、左右調整ネジにドライバーが差し込めなくなりますのでご注意ください。
- 傾き調整をする場合 (図-3)
プラスドライバーを使って傾き調整ネジを時計回りに回すと扉がA方向に傾き、反時計回りに回すと扉がB方向に傾きます。

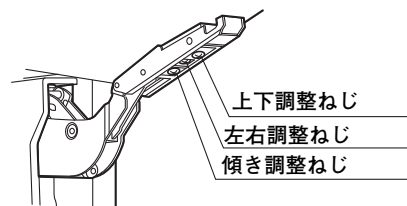
④ 扉開閉具合の調整方法

本品は、工場出荷時に調整した状態で出荷しますが扉を約 90° に開いて、扉が自然に上ったり下がったりする場合には、扉開閉機構部を調整してください。

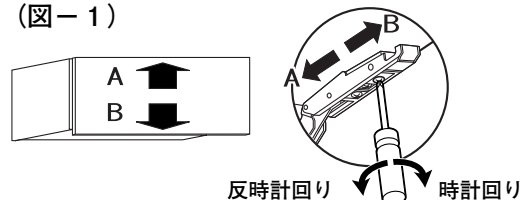
- カバーを取り外してください。(図-4)
 - 扉が自然に下がる場合は、調整ネジを時計回りに回してください。(図-5)
プレートが+方向へ動き、ばねが強くなります。
 - 扉が自然に上がる場合は、調整ネジを反時計回りに回してください。
プレートが-方向へ動き、ばねが弱くなります。
- ※ 左右で調整量が異なると、扉とキャビネットの隙間が左右で不均一になります。
ゲージ内のプレート位置を確認しながら左右の調整量を合わせ下さい。

- カバーを取付けてください。(図-6)

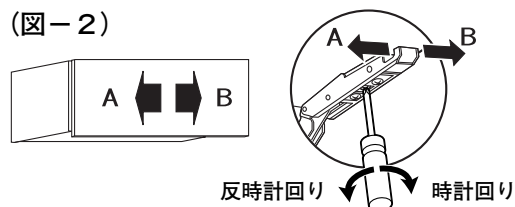
各部の名称



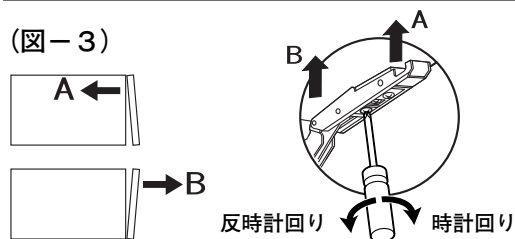
(図-1)



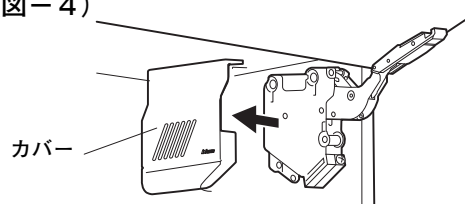
(図-2)



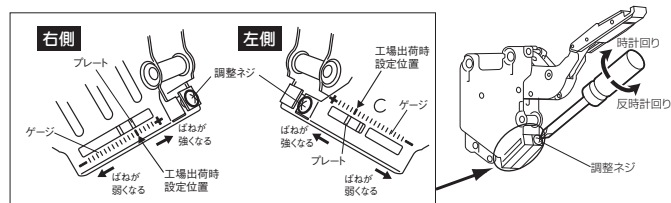
(図-3)



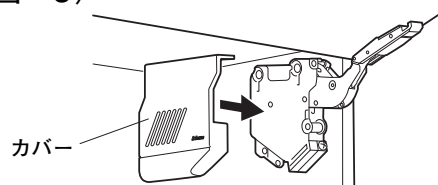
(図-4)



(図-5)



(図-6)



4. 取付・設置手順（続き）

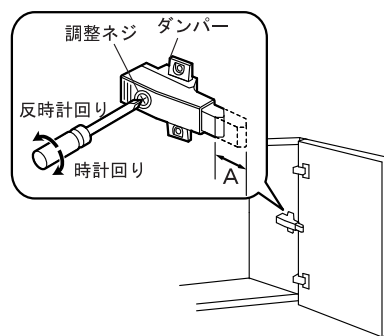
（9）ダンパーの調整方法

右図のダンパーが付いたキャビネットのみ調整ができます。

調整ネジを時計回りに回すと A の部分が長くなり、ダンパーが早く効きはじめ、扉がゆっくりと閉まります。

調整ネジを反時計回りに回すと、A の部分が短くなり、ダンパーが遅く効きはじめ、扉が早く（弱く）閉まります。

各部の名称



（10）ダンパーの取外し・取付方法

- 右図のようなダンパーは取付け・取外しができます。扉の調整をする場合はダンパーを外してから扉の調整を行ってください。

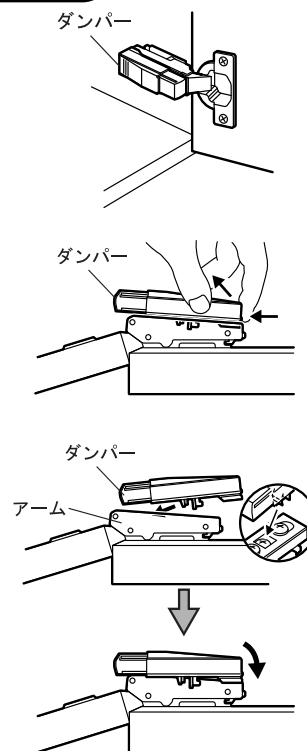
① ダンパーの取外し方法

ダンパー先端部を上を持ち上げながら手前に引く。

② ダンパーの取付方法

ダンパー下部の爪をアームの長方形の穴に当て、手前側（扉側）に少し押す。上から少し押し、カチッと音がするまで押し込んでください。簡単に外れたりしないことを確認してください。

各部の名称



注意

- ダンパーの取外し、取付けを行う時は必ず保護手袋を使用する。

けがをするおそれがあります。



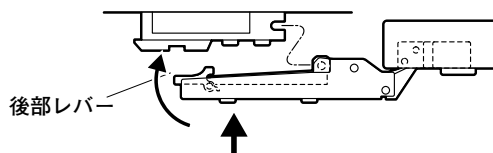
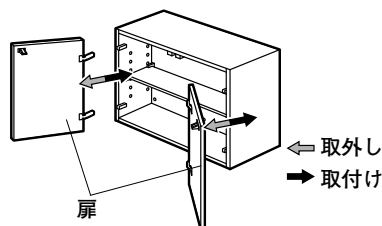
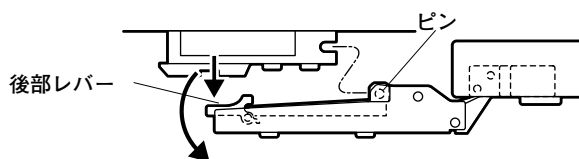
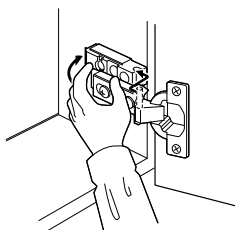
（11）扉の取外し・取付方法

① 扉の取外し方法

丁番の後部レバーを引くようにし、引き戸棚の扉を外してください。

② 扉の取付方法

作業終了後、吊戸棚の扉を取付けてください。丁番前のピンを引掛けるようにし、丁番の後部レバーをカチッと音がするまではめ込んでください。

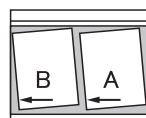
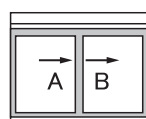


4. 取付・設置手順（続き）

(12) 扉の調整方法

- ① ダンパー付きの場合は、ダンパーを外してから扉の調整を行ってください。
 (⑫ページ「(10) ダンパーの取外し・取付方法」)

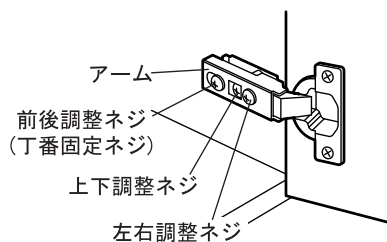
- ② 左右傾きの調整をする場合 (図-1)
 左右調整ネジを回すだけで調整が行えます。左右調整ネジを時計回りに回すと扉がB方向に動き、反時計回りに回すと扉がA方向に動きます。ヒンジの左右調整ネジの高さに注意してください。左右調整ネジを右へ回しすぎるとネジが突き出てダンパーが取付けられなかったり、付けても外れやすくなります。
 ※調整は必ず±2mmまでとしてください。



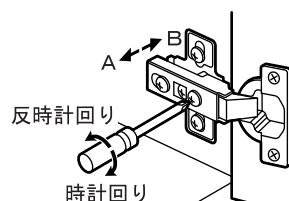
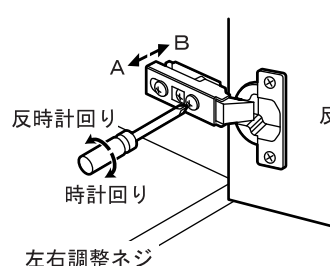
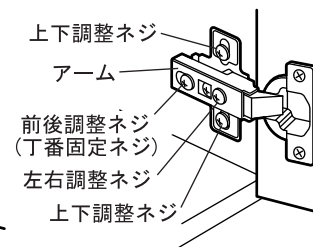
±2mm

各部の名称

丁番座金形状：
ストレート形状

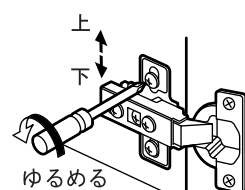
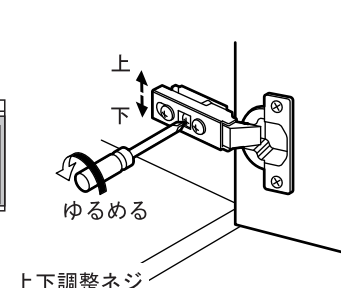
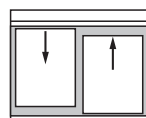


丁番座金形状：
十字形状



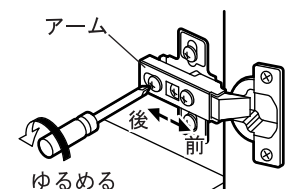
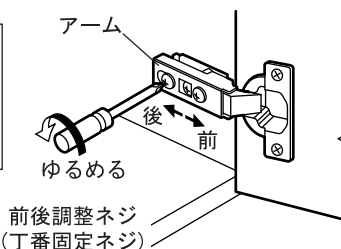
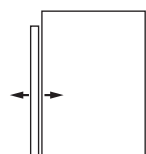
(図-1)

- ③ 上下の調整をする場合 (図-2)
 上下調整ネジをゆるめます。
 扉を上下に動かし扉の調整をします。
 調整後はネジをしっかりと締めつけてください。
 (丁番座金形状が十字形状の場合は、2ヶ所の上下調整ネジをゆるめて扉を調整してください。)



(図-2)

- ④ 前後の調整をする場合 (図-3)
 前後調整ネジをゆるめます。
 アームを前後に動かし扉の調整をします。
 調整後はネジをしっかりと締めつけてください。



(図-3)

- ⑤ ダンパー付きの場合は、ダンパーを取付けてください。
 (⑫ページ「(10) ダンパーの取外し・取付方法」)。

⚠ 注意

- 取付・設置完了後は、扉の傾き、ガタつき、丁番のゆるみがないことを必ず確認する。
 扉が落下して、けがをするおそれがあります。

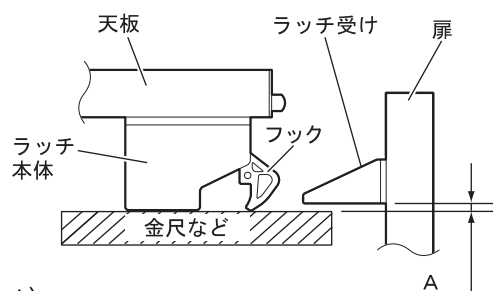
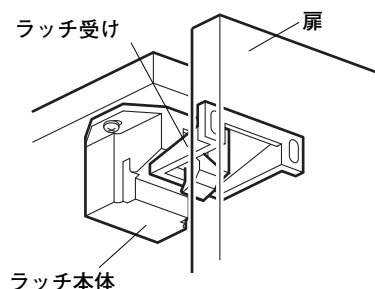


4. 取付・設置手順（続き）

(13) ロック機構の調整・解除方法

各部の名称

- 製品出荷時には、取付中のロック防止の為、ラッチ本体にテープが貼ってあります。壁面取付け後にテープを剥がし、以下の調整を行ってください。
- 吊戸棚が壁面及び床面に対して水平・垂直なっていることを確認してください。水平・垂直に取付いていないとロック機構が作動し、扉が開かなくなります。
(ラッチ本体が3°以上傾くとロック機構が働きます)
- 扉の開閉を行う際、ラッチ本体のフックとラッチ受けがぶつかり、扉が閉まらなくなった場合や、スムーズに開閉できない場合には、以下の要領でラッチ受け及び扉を調整してください。



(図 - 1)

ラッチを正常に作動させるために、必ずA寸法が1.5～3.5mmになるように、ラッチ受けの位置を調整してください。

①ラッチ受けの調整方法

ラッチ受けを固定しているビスを緩め、ラッチ受けが基準位置にくるように調整し、ビスを締め付けてください。
(図 - 1) (図 - 2)

②扉の調整方法

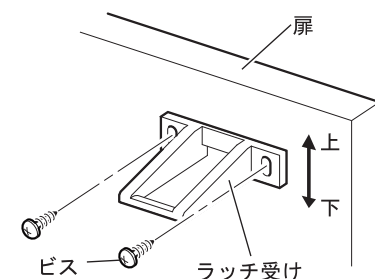
ラッチ受けを調整しても、スムーズに開閉できない場合は、⑬ページの「扉の調整方法」を参照し、扉を下方向に調整して、ラッチ受けが基準位置に来るようにしてください。

③調整後の確認

- ・ 扉の開閉がスムーズか確認する。
- ・ A寸法が1.5～3.5mmの範囲か確認する。

※注意

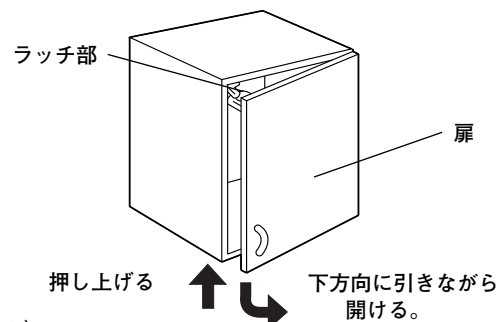
- ・ A寸法が3.5mmより大きいとラッチ受けがフックに当たり扉が閉まらない場合があります。
- ・ A寸法が1.5mmより小さいと地震などで揺れてもロック機構が働かない場合があります。



(図 - 2)

④ロック機構の解除方法

ロック機構付きキャビネット本体が3°以上傾き、ロックが作動し扉が開閉できなくなった場合は、キャビネットを下方向から押し上げ、扉を下方向に軽く引きながら開けてください。(図 - 3) (ロックは3°以下で自動解除します。)



(図 - 3)

⚠ 注 意

- ラッチ本体を外したり、分解しない。

ロック機構が働かなくなったり、扉が開かなくなってしまうことがあります。



5. 仕上げ

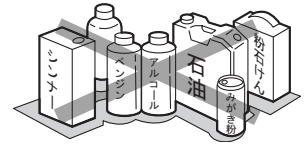
(1) 清掃

- ちょっとした汚れは、柔らかい布などで軽く拭いてください。
- 汚れのひどいときは、中性洗剤をスポンジか柔らかい布に含ませて軽く拭いた後、水拭きしてください。水拭き後は、必ず乾いた布で水分を拭きとってください。

⚠ 注 意

- 清掃をする場合は台所中性洗剤を使用する。

その他の洗剤及びベンジン・シンナー・ガソリン・みがき粉等の溶剤を使用すると、扉の変色、変質の原因になります。



6. 点検

(1) 安全点検

- ・ 取付・設置完了後、必ず各部の点検を行い、異常のないことを確かめてください。

7. 完了後の処置

(1) 商品の養生について

- ・ 製品および組込機器などは、お引渡しまでの間、キズや汚れがつかないように覆いをしてください。

(2) 取扱説明書の保管・引渡し方法

- ・ 製品および組込機器等の取扱説明書は、とりまとめて保管し、お引渡しの際、不足のないことを確認してお客様にお渡しください。

8. 残材処理

(1) 梱包材その他残材の処置

- ・ 不要部材を処分する場合は、必ず公的許可を受けている業者に依頼してください。

株式会社ハウステック

東京都板橋区板橋 3-9-7 板橋センタービル 〒173-0004 Tel.03-5248-5500 www.housetec.co.jp